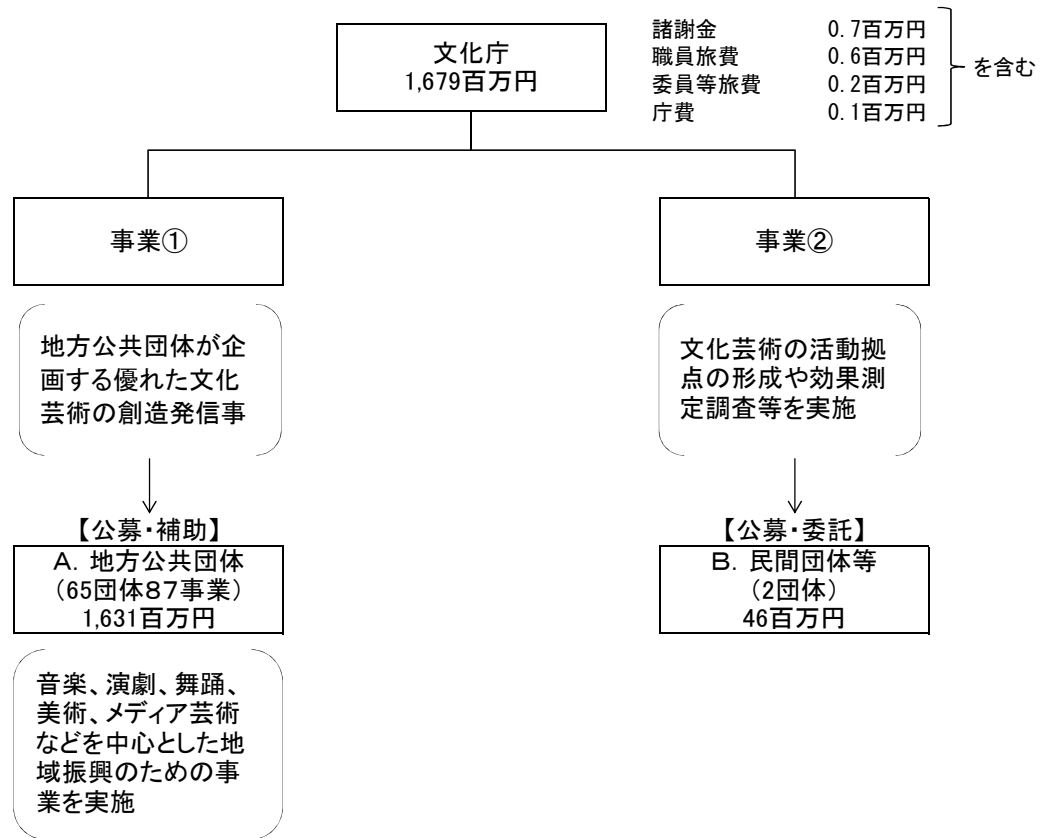


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ	担当部局庁	文化庁	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～終了年度未定	担当課室	文化部芸術文化課	芸術文化課長 舟橋 徹				
会計区分	一般会計	政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-1 芸術文化の振興					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化芸術振興基本法 第4条、第14条、第35条	関係する計画、 通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	地方公共団体が企画する優れた文化芸術の創造発信事業を支援し、文化芸術活動等を活発化させ、地域文化の再生やコミュニティの再構築、ひいては地域の活性化を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	①音楽、演劇、舞踊、美術、メディア芸術などを中心とした地域振興のための以下の事業を対象とし、事業費の1/2の範囲で補助する。 【事業のメニュー】 i)文化芸術創造発信事業(24年度事業名:文化芸術創造発信イニシアチブ事業) ii)文化芸術による「心の復興」事業 iii)メディア芸術地域活性化事業 iv)高校生優秀文化団体国際大会派遣事業 v)新国立劇場を活用した現代舞台芸術の普及事業 ②文化芸術の活動拠点の形成や効果測定調査等を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算			3,215	2,936	3,918	
		繰越し等			△ 775	-		
		計			-	-		
	執行額				2,441	2,936	3,918	
	執行率 (%)				1,679			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	事業の実施後も継続して地域における活発な芸術文化活動が行われるよう、文化振興条例の制定・検証、文化振興プラン等の策定が行われる。		成果実績				1件	
			達成度	%				
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施地方公共団体の人口に対する事業への参加人数の割合		活動実績 (当初見込み)				15%	—
					()	(1%)	()	
単位当たり コスト	19(百万円/件)		算出根拠	単位あたりコスト＝平成24年度予算額((目)文化芸術振興費補助金)／補助事業の実施件数 ＝1,631百万円/87件				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1百万円	2百万円	事業メニュー増設に伴う審査謝金の増				
	職員旅費	1百万円	1百万円					
	委員等旅費	3百万円	3百万円					
	庁費	1百万円	1百万円					
	文化芸術振興委託費	58百万円	58百万円					
	文化芸術振興費補助金	2,872百万円	3,854百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」500				
	計	2,936百万円	3,918百万円					

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)の重点戦略に挙げられており、国として実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・補助事業者の決定にあたっては、地方公共団体が策定した計画に基づいて実施する取組について、外部有識者を含む審査委員会の審査を経て決定している。 また、委託事業の受託者の選定にあたっては、企画競争を行い、競争性を確保している。 一方、事業実施の対象となる経費については、補助事業及び委託事業ともに、それぞれ補助要綱及び委託要項で厳格に定めている。 なお、平成24年度は事業の初年度で、補助事業者の事業の認知度が低く、不用率が約33%に上ったが、平成25年度は予算額を上回る応募があった。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	・実績報告書の精査を行うとともに、実施された取組や成果物の確認などを行い、より適正に補助金が執行されるよう努めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業の活用により、地域の特性や実情を踏まえた文化芸術の創造発信事業が実施され、当該地域の文化の振興や地域の活性化が図られた。しかしながら、本事業による支援がなければ継続的实施に疑問が残る事業や、地域の特色を十分に活かしていない事業も一部に見られた。今後は、このような事業については不採択としたり、改善を求めたりするなど、適切に事業を実施していく必要がある。					
外部有識者の所見						
本事業においては、各地域の特色ある文化芸術活動の実施により、当該地域の文化の振興や地域の活性化に一定の効果があつたと認められる。しかしながら、本事業をより効果の高いものとするため、今後は申請事業の内容について更に精査を行い、支援対象の重点化等の改善を検討するべきである。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	1. 事業評価の観点: 本事業は地方公共団体が企画する優れた文化芸術の創造発信事業を支援し、文化芸術活動等を活発化させ、地域文化の再生やコミュニティの再構築を通じて地域の活性化を推進することを目的とした補助事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。 2. 所見: 本事業は平成24年度決算において不用を生じており、平成25年度当初予算において一定の見直しを行っているところであるが、メニュー毎の執行実績も踏まえた予算積算の見直しなどを通じ、引き続きコスト削減に努めるべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	本事業については、平成25年度当初予算額を縮減したほか、平成25年度事業募集に際しては、本事業の目的・効果の周知徹底を図り、その結果、平成25年度は予算額を上回る応募があつた。 平成26年度概算要求においては、所見を踏まえ、平成24年度執行実績や平成25年度の採択状況をもとに、メニュー毎の予算積算を見直すとともに、「高校生優秀文化団体国際大会派遣事業」については、これを廃止し、概算要求に▲653百万円反映した。					
備考						
文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定) http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	新24-0054	平成24年	新24-0047

※平成24年度実績を記入。



※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.鳥取県			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	地域を代表する著名なまんが家を中心とした展示やステージ等で地域の各地を巡回するまんが博に係る経費	291			
計		291	計		0
B.社団法人全国公立文化施設協会			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	賃金	13			
謝金・旅費	会議出席謝金、旅費等	8			
雑役務費	印刷製本費等	5			
諸経費	借損料、通信運搬費、消耗品費、会議費	4			
一般管理費		3			
計		33	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鳥取県	地域を代表する著名なまんが家を中心とした展示やステージ等で地域の各地を巡回するまんが博	291	—	—
2	豊島区	地域の劇場や公園、商業施設等での演奏会や演劇公演、ダンス等の実演	161	—	—
3	大分県	関係市町村と共同で開催する現代アートの芸術祭、地域の小中学校での演奏会や公演等	105	—	—
4	横浜市	芸術性の高いものから市民が参加できるものまで、様々なジャンルのプログラムを地域各所で実施するダンスフェスティバル	100	—	—
5	十日町市	地域の里山を舞台にした現代アートの国際芸術祭	100	—	—
6	京都府	伝統芸能や美術工芸を子どもたちが体験できる機会の提供、お茶や花をテーマにした祭典等	58	—	—
7	金沢市	ジャズやアカベラのフェスティバル、地域出身の文学者の作品を題材にしたオペラの公演	52	—	—
8	山口市	メディア芸術を活用して人材育成、観光交流等を図る展示やワークショップ等	49	—	—
9	新潟市	地域の水と土の文化を国内外に発信する芸術祭やマンガ・アニメを活用したまちづくり	49	—	—
10	川崎市	コンサートだけでなく、地域の音楽大学と連携したワークショップや講座による人材育成を図るジャズフェスティバル等	45	—	—

※補助事業

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人全国公立文化施設協会	被災地における文化芸術による復興の在り方や拠点形成等に必要な情報提供等	32.5	企画競争	—
2	株式会社 JTBコミュニケーションズ	「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ」事業の効率的な遂行（補助事業に係る補助業務、事業成果の効果分析に関する業務等）	13.7	企画競争	—